

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 三重県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合医療センター	2
-	こころの医療センター	3
-	一志病院	4
-	志摩病院	5
四日市市	市立四日市病院	6
伊勢市	市立伊勢総合病院	7
松阪市	松阪市民病院	8
桑名市	桑名市民病院	9
名張市	名張市立病院	10
尾鷲市	尾鷲総合病院	11
亀山市	市立医療センター	12
志摩市	国民健康保険 志摩市民病院	13
伊賀市	伊賀市立上野総合市民病院	14
大台町	報徳病院	15
玉城町	国保玉城病院	16
南伊勢町	町立南伊勢病院	17
紀南病院組合	紀南病院	18

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	三重県
		市町村・組合名	
		病院名	総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	665,596,014	
標準財政規模(千円)	433,108,458	
財政力指数	0.59404	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.2
	将来負担比率(%)	186.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	176,421			
1 経常収益	176,421			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	176,421			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	176,421			
2 経常費用	176,421			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	176,421			
(うち支払利息)	176,421	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	286.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	三重県
		市町村・組合名	
		病院名	こころの医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,768 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	3	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	348	78.9	78.1	81.8
感染症	-	-	-	-
計	348	78.9	78.1	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	665,596,014	
標準財政規模(千円)	433,108,458	
財政力指数	0.59404	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.2
	将来負担比率(%)	186.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.7
修正医業収支金額(千円)	2,107,474

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,244,624			
1 経常収益	3,244,624			
(1) 医業収益	2,271,118			
入院収益	1,746,286			
外来収益	334,154			
診療収入計	2,080,440			
その他医業収益	190,678			
(うち他会計負担金)	163,644			
(2) 医業外収益	973,506			
(うち国・都道府県補助金)	1,810			
(うち他会計補助・負担金)	860,609			
(うち長期前受金戻入)	90,144			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,338,762			
2 経常費用	3,338,762			
(1) 医業費用	3,205,618			
職員給与費	2,266,827	99.8	56.0	96.0
材料費	194,105	8.5	24.1	8.6
(うち薬品費)	75,638	3.3	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,269	1.6	11.1	1.0
減価償却費	175,461	7.7	9.2	12.5
経費	551,086	24.3	23.2	34.0
(うち委託料)	352,725	15.5	11.3	16.5
研究研修費	9,221			
資産減耗費	8,918			
(2) 医業外費用	133,144			
(うち支払利息)	57,643	2.5	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-94,138			
純損益	-94,138			
累積欠損金	3,122,503			
経常収支比率	97.2		98.2	100.0
医業収支比率	70.8		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	31.6		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	45.1		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	31.6		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	66.5		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,989,899
1 固定資産	8,727,006
(1) 有形固定資産	8,462,259
(2) 無形固定資産	2,318
(3) 投資その他の資産	262,429
2 流動資産	1,262,893
(1) 現金及び預金	784,033
(2) 未収金及び未収収益	525,031
(3) 貸倒引当金()	56,907
(4) 貯蔵品	7,414
3 繰延資産	-
負債合計	17,548,256
1 固定負債	13,213,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,466,659
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,339,174
(6) 引当金	1,326,590
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,190,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	686,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	173,571
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	320,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,143,924
(1) 長期前受金	5,895,799
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,751,875
資本合計	-7,558,357
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,869,767
(1) 資本剰余金	1,371,554
(2) 利益剰余金	-9,241,321
負債・資本合計	9,989,899
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	7,558,357
資本不足額(繰延収益控除後)()	4,414,433
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	960,295	1,024,253
資本勘定繰入	221,999	221,999
計	1,182,294	1,246,252

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	286.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	
				病院名	一志病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種	該当	
建物面積	6,295 m ²	指定病院の状況	救	へ	
診療科数	8	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	46	85.5	86.0	82.8
療養	40	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	86	45.7	46.0	44.3
平均在院日数（一般病床のみ）		18.9	19.6	18.4

設立団体の状況		
人口（人）	1,815,865	
決算規模（千円）	665,596,014	
標準財政規模（千円）	433,108,458	
財政力指数	0.59404	
経常収支比率（%）	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.2
	将来負担比率（%）	186.2

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,040,472			
1 経常収益	1,040,472			
(1) 医業収益	735,685			
入院収益	400,154			
外来収益	160,154			
診療収入計	560,308			
その他医業収益	175,377			
(うち他会計負担金)	59,616			
(2) 医業外収益	304,787			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	287,953			
(うち長期前受金戻入)	15,240			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	957,742			
2 経常費用	957,742			
(1) 医業費用	936,903			
職員給与費	611,126	83.1	56.0	71.8
材料費	65,231	8.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	24,655	3.4	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,086	4.1	11.1	5.6
減価償却費	63,133	8.6	9.2	12.2
経費	192,742	26.2	23.2	31.2
(うち委託料)	100,816	13.7	11.3	12.3
研究研修費	1,765			
資産減耗費	2,906			
(2) 医業外費用	20,839			
(うち支払利息)	892	0.1	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	82,730			
純損益	82,730			
累積欠損金	637,032			
経常収支比率	108.6		98.2	97.1
医業収支比率	78.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	33.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	47.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	33.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	72.3		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,989,899
1 固定資産	8,727,006
(1) 有形固定資産	8,462,259
(2) 無形固定資産	2,318
(3) 投資その他の資産	262,429
2 流動資産	1,262,893
(1) 現金及び預金	784,033
(2) 未収金及び未収収益	525,031
(3) 貸倒引当金（ ）	56,907
(4) 貯蔵品	7,414
3 繰延資産	-
負債合計	17,548,256
1 固定負債	13,213,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,466,659
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,339,174
(6) 引当金	1,326,590
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,190,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	686,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	173,571
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	320,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,143,924
(1) 長期前受金	5,895,799
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,751,875
資本合計	-7,558,357
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,869,767
(1) 資本金剰余金	1,371,554
(2) 利益剰余金	-9,241,321
負債・資本合計	9,989,899
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	7,558,357
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	4,414,433
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	72.2
修正医業収支金額（千円）	676,069

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	328,811	347,569
資本勘定繰入	13,241	13,241
計	342,052	360,810

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	286.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	
				病院名	志摩病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,325 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 災地 輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	236	50.8	58.8	52.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	78.5	83.8	90.8
感染症	-	-	-	-
計	336	59.1	66.3	63.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	10.9	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	665,596,014	
標準財政規模(千円)	433,108,458	
財政力指数	0.59404	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.2
	将来負担比率(%)	186.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収支金額(千円)	13,211

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	933,603			
1 経常収益	933,603			
(1) 医業収益	215,568			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	215,568			
(うち他会計負担金)	202,357			
(2) 医業外収益	718,035			
(うち国・都道府県補助金)	2,159			
(うち他会計補助・負担金)	423,483			
(うち長期前受金戻入)	128,420			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	997,529			
2 経常費用	997,529			
(1) 医業費用	925,460			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	306,626	142.2	9.2	9.5
経費	613,248	284.5	23.2	22.0
(うち委託料)	10,622	4.9	11.3	10.8
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	5,586	-	-	-
(2) 医業外費用	72,069	-	-	-
(うち支払利息)	52,482	24.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-63,926			
純損益	-63,926			
累積欠損金	5,481,786			
経常収支比率	93.6		98.2	96.7
医業収支比率	23.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	67.0		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	290.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	67.0		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	30.9		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,989,899
1 固定資産	8,727,006
(1) 有形固定資産	8,462,259
(2) 無形固定資産	2,318
(3) 投資その他の資産	262,429
2 流動資産	1,262,893
(1) 現金及び預金	784,033
(2) 未収金及び未収収益	525,031
(3) 貸倒引当金()	56,907
(4) 貯蔵品	7,414
3 繰延資産	-
負債合計	17,548,256
1 固定負債	13,213,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,466,659
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,339,174
(6) 引当金	1,326,590
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,190,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	686,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	173,571
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	320,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,143,924
(1) 長期前受金	5,895,799
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,751,875
資本合計	-7,558,357
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,869,767
(1) 資本剰余金	1,371,554
(2) 利益剰余金	-9,241,321
負債・資本合計	9,989,899
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	7,558,357
資本不足額(繰延収益控除後)()	4,414,433
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	563,008	625,840
資本勘定繰入	136,633	136,633
計	699,641	762,473

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	286.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	四日市市
	病院名	市立四日市病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,525 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	566	76.4	77.4	78.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	568	76.1	77.1	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.6	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	311,031	
決算規模(千円)	122,376,328	
標準財政規模(千円)	77,014,266	
財政力指数	1.07	
経常収支比率(%)	74.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.0
修正医業収支金額(千円)	19,970,404

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,464,706			
1 経常収益	21,351,010			
(1) 医業収益	20,093,724			
入院収益	12,774,196			
外来収益	6,783,454			
診療収入計	19,557,650			
その他医業収益	536,074			
(うち他会計負担金)	123,320			
(2) 医業外収益	1,257,286			
(うち国・都道府県補助金)	28,908			
(うち他会計補助・負担金)	600,413			
(うち長期前受金戻入)	489,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113,696			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,110,749			
2 経常費用	21,083,505			
(1) 医業費用	20,168,394			
職員給与費	8,870,224	44.1	56.0	49.8
材料費	6,343,629	31.6	24.1	28.0
(うち薬品費)	3,285,604	16.4	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,056,197	15.2	11.1	12.8
減価償却費	1,543,332	7.7	9.2	8.3
経費	3,261,205	16.2	23.2	20.7
(うち委託料)	1,856,285	9.2	11.3	11.4
研究研修費	74,336			
資産減耗費	75,668			
(2) 医業外費用	915,111			
(うち支払利息)	126,994	0.6	1.6	1.4
(3) 特別損失	27,244			
損益				
経常損益	267,505			
純損益	353,957			
累積欠損金	993,181			
経常収支比率	101.3		98.2	99.5
医業収支比率	99.6		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	3.4		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	3.6		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	3.4		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	97.8		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,718,487
1 固定資産	17,983,663
(1) 有形固定資産	16,905,859
(2) 無形固定資産	3,443
(3) 投資その他の資産	1,074,361
2 流動資産	14,734,824
(1) 現金及び預金	11,281,576
(2) 未収金及び未収収益	3,281,608
(3) 貸倒引当金()	35,177
(4) 貯蔵品	206,817
3 繰延資産	-
負債合計	17,393,714
1 固定負債	13,261,255
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,746,455
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,489,055
(7) リース債務	25,745
2 流動負債	4,015,871
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,230,687
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	539,517
(6) リース債務	16,092
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,168,342
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	116,588
(1) 長期前受金	1,788,017
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,671,429
資本合計	15,324,773
1 資本金	16,317,954
2 剰余金	-993,181
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-993,181
負債・資本合計	32,718,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	828,030	723,733
資本勘定繰入	587,279	587,279
計	1,415,309	1,311,012

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	伊勢市
				病院名	市立伊勢総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,379 m ²	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	20	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	260	64.4	60.2	60.8
療養	40	68.0	64.1	48.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	64.9	60.8	58.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	12.5	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	127,817	
決算規模(千円)	55,399,992	
標準財政規模(千円)	29,948,897	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.4
修正医業収支金額(千円)	5,584,764

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,250,675			
1 経常収益	6,819,957			
(1) 医業収益	5,634,634			
入院収益	3,476,948			
外来収益	1,709,274			
診療収入計	5,186,222			
その他医業収益	448,412			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	1,185,323			
(うち国・都道府県補助金)	8,780			
(うち他会計補助・負担金)	992,971			
(うち長期前受金戻入)	102,760			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	430,718			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,426,193			
2 経常費用	7,426,182			
(1) 医業費用	6,466,388			
職員給与費	3,946,327	70.0	56.0	57.1
材料費	1,168,596	20.7	24.1	23.9
(うち薬品費)	625,747	11.1	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	540,987	9.6	11.1	11.4
減価償却費	197,657	3.5	9.2	9.5
経費	1,122,834	19.9	23.2	22.0
(うち委託料)	718,352	12.7	11.3	10.8
研究研修費	24,338			
資産減耗費	6,636			
(2) 医業外費用	959,794			
(うち支払利息)	47,016	0.8	1.6	1.6
(3) 特別損失	1,000,011			
損益				
経常損益	-606,225			
純損益	-1,175,518			
累積欠損金	3,272,554			
経常収支比率	91.8		98.2	96.7
医業収支比率	87.1		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	77.8		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,672,550
1 固定資産	19,024,892
(1) 有形固定資産	18,431,738
(2) 無形固定資産	3,563
(3) 投資その他の資産	589,591
2 流動資産	1,647,658
(1) 現金及び預金	509,327
(2) 未収金及び未収収益	1,120,350
(3) 貸倒引当金()	9,824
(4) 貯蔵品	22,921
3 繰延資産	-
負債合計	17,569,949
1 固定負債	14,193,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,538,940
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,654,180
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,623,970
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,207
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	235,625
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,275,313
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,752,859
(1) 長期前受金	2,289,872
(2) 長期前受金収益化累計額()	537,013
資本合計	3,102,601
1 資本金	4,586,118
2 剰余金	-1,483,517
(1) 資本剰余金	1,789,037
(2) 利益剰余金	-3,272,554
負債・資本合計	20,672,550
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	528,632	1,042,841
資本勘定繰入	2,497,340	2,560,340
計	3,025,972	3,603,181

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	松阪市
	病院名	松阪市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,379 m ²	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災 地 輪
診療科数	25	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区 分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	326	88.8	85.7	83.8
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	2	-	-	-
計	328	88.3	85.2	83.3
平均在院日数（一般病床のみ）		13.7	13.7	13.4

設立団体の状況		
人 口 (人)	163,863	
決 算 規 模 (千円)	67,050,218	
標 準 財 政 規 模 (千円)	40,378,666	
財 政 力 指 数	0.61	
経 常 収 支 比 率 (%)	90.6	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.2
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	100.9
修正医業収支金額 (千円)	9,636,351

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	10,466,117			
1 経 常 収 益	10,466,117			
(1) 医 業 収 益	9,706,766			
入 院 収 益	5,732,821			
外 来 収 益	3,751,770			
診 療 収 入 計	9,484,591			
そ の 他 医 業 収 益	222,175			
(うち他会計負担金)	70,415			
(2) 医 業 外 収 益	759,351			
(うち国・都道府県補助金)	5,610			
(うち他会計補助・負担金)	367,237			
(うち長期前受金戻入)	259,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	10,352,211			
2 経 常 費 用	10,105,228			
(1) 医 業 費 用	9,546,075			
職 員 給 与 費	4,518,316	46.5	56.0	57.1
材 料 費	3,342,557	34.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	2,403,107	24.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	842,655	8.7	11.1	11.4
減 価 償 却 費	504,669	5.2	9.2	9.5
経 理 費	1,106,620	11.4	23.2	22.0
(うち委託料)	647,331	6.7	11.3	10.8
研 究 研 修 費	53,334			
資 産 減 耗 費	20,579			
(2) 医 業 外 費 用	559,153			
(うち支払利息)	137,259	1.4	1.6	1.6
(3) 特 別 損 失	246,983			
損 益				
経 常 損 益	360,889			
純 損 益	113,906			
累 積 欠 損 金	3,994,828			
経 常 収 支 比 率	103.6		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	101.7		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	99.2		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	10,686,099
1 固 定 資 産	6,970,614
(1) 有 形 固 定 資 産	6,606,300
(2) 無 形 固 定 資 産	117,114
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	247,200
2 流 動 資 産	3,715,485
(1) 現 金 及 び 預 金	2,008,800
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,601,974
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	2,874
(4) 貯 蔵 品	107,350
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	8,724,269
1 固 定 負 債	4,566,677
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,248,108
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,292,992
(7) リ ー ス 債 務	25,577
2 流 動 負 債	1,793,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	749,019
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	220,172
(6) リ ー ス 債 務	13,899
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	783,489
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	2,363,909
(1) 長 期 前 受 金	6,141,792
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	3,777,883
資 本 合 計	1,961,830
1 資 本 金	5,937,816
2 剰 余 金	-3,975,986
(1) 資 本 剰 余 金	18,842
(2) 利 益 剰 余 金	-3,994,828
負 債 ・ 資 本 合 計	10,686,099
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額（繰延収益控除後） ()	-
備 考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	492,055	437,652
資 本 勘 定 繰 入	495,759	486,406
計	987,814	924,058

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	41.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	桑名市
	病院名	桑名市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	140,303	
決算規模（千円）	51,463,668	
標準財政規模（千円）	30,124,126	
財政力指数	0.85	
経常収支比率（%）	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.6
	将来負担比率（%）	56.9

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	482			
1 経常収益	482			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	482			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	482			
2 経常費用	482			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	482			
(うち支払利息)	482	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	名張市
				病院名	名張市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,102 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	9	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	200	78.5	87.2	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	78.5	87.2	81.2
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	12.8	12.4

設立団体の状況		
人口（人）	78,795	
決算規模（千円）	27,945,580	
標準財政規模（千円）	15,872,395	
財政力指数	0.72	
経常収支比率（%）	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	16.2
	将来負担比率（%）	190.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.3
修正医業収支金額（千円）	3,962,647

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,310,985			
1 経常収益	5,287,391			
(1) 医業収益	4,373,257			
入院収益	2,935,913			
外来収益	919,999			
診療収入計	3,855,912			
その他医業収益	517,345			
(うち他会計負担金)	410,610			
(2) 医業外収益	914,134			
(うち国・都道府県補助金)	14,242			
(うち他会計補助・負担金)	575,963			
(うち長期前受金戻入)	60,711			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,594			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,272,370			
2 経常費用	5,246,988			
(1) 医業費用	4,592,951			
職員給与費	2,805,476	64.2	56.0	59.3
材料費	744,335	17.0	24.1	19.3
(うち薬品費)	186,447	4.3	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	557,888	12.8	11.1	9.2
減価償却費	221,343	5.1	9.2	10.3
経費	807,217	18.5	23.2	27.6
(うち委託料)	503,682	11.5	11.3	12.3
研究研修費	12,259			
資産減耗費	2,321			
(2) 医業外費用	654,037			
(うち支払利息)	136,972	3.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	25,382			
損益				
経常損益	40,403			
純損益	38,615			
累積欠損金	9,092,946			
経常収支比率	100.8		98.2	96.7
医業収支比率	95.2		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	82.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,556,431
1 固定資産	5,556,097
(1) 有形固定資産	5,553,317
(2) 無形固定資産	2,780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,000,334
(1) 現金及び預金	48,572
(2) 未収金及び未収収益	709,972
(3) 貸倒引当金（ ）	9,122
(4) 貯蔵品	36,219
3 繰延資産	-
負債合計	6,943,222
1 固定負債	4,808,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,754,350
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	250,000
(6) 引当金	798,299
(7) リース債務	5,736
2 流動負債	1,607,740
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	608,671
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	167,998
(6) リース債務	3,042
(7) 一時借入金	520,000
(8) 未払金及び未払費用	294,077
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	527,097
(1) 長期前受金	2,185,250
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,658,153
資本合計	-386,791
1 資本金	8,056,103
2 剰余金	-8,442,894
(1) 資本剰余金	650,052
(2) 利益剰余金	-9,092,946
負債・資本合計	6,556,431
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	386,791
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	933,460	986,573
資本勘定繰入	403,177	416,786
計	1,336,637	1,403,359

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	164,364	3.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	207.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	尾鷲市
	病院名	尾鷲総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	199	76.0	76.3	78.7
療養	56	53.0	74.4	73.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	255	70.9	75.9	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	19.5	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	18,009	
決算規模(千円)	10,004,493	
標準財政規模(千円)	5,838,035	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	49.2

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,802 m ²	指定病院の状況	救臨へ災輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収支金額(千円)	3,735,578

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,250,577			
1 経常収益	4,248,716			
(1) 医業収益	3,768,686			
入院収益	2,105,820			
外来収益	1,481,392			
診療収入計	3,587,212			
その他医業収益	181,474			
(うち他会計負担金)	33,108			
(2) 医業外収益	480,030			
(うち国・都道府県補助金)	1,715			
(うち他会計補助・負担金)	256,699			
(うち長期前受金戻入)	197,731			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,861			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,375,101			
2 経常費用	4,368,543			
(1) 医業費用	4,171,637			
職員給与費	2,313,315	61.4	56.0	59.3
材料費	920,631	24.4	24.1	19.3
(うち薬品費)	499,883	13.3	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	412,772	11.0	11.1	9.2
減価償却費	226,776	6.0	9.2	10.3
経費	697,791	18.5	23.2	27.6
(うち委託料)	338,617	9.0	11.3	12.3
研究研修費	8,970			
資産減耗費	4,154			
(2) 医業外費用	196,906			
(うち支払利息)	64,481	1.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	6,558			
損益				
経常損益	-119,827			
純損益	-124,524			
累積欠損金	2,931,024			
経常収支比率	97.3		98.2	96.7
医業収支比率	90.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	90.6		86.0	83.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,626,521
1 固定資産	2,974,630
(1) 有形固定資産	2,957,300
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	14,051
2 流動資産	651,891
(1) 現金及び預金	11,506
(2) 未収金及び未収収益	604,565
(3) 貸倒引当金()	3,273
(4) 貯蔵品	38,975
3 繰延資産	-
負債合計	3,553,074
1 固定負債	2,212,569
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,889,389
(2) その他の企業債	2,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	320,380
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,088,020
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	310,467
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	133,448
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	361,000
(8) 未払金及び未払費用	264,350
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	252,485
(1) 長期前受金	3,518,811
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,266,326
資本合計	73,447
1 資本金	200,856
2 剰余金	-127,409
(1) 資本金剰余金	2,803,615
(2) 利益剰余金	-2,931,024
負債・資本合計	3,626,521
不良債務	125,662
実質資金不足額	125,662
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,177	289,807
資本勘定繰入	178,561	185,193
計	400,738	475,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	125,662	3.3
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.8
健全化法上の資金不足額(千円)	125,662
健全化法上の資金不足比率(%)	3.3
地財法上の資金不足額(千円)	128,462
地財法上の資金不足比率(%)	3.4

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	亀山市
				病院名	市立医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,980 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	4	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	92	70.4	68.7	55.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	70.4	68.7	55.3
平均在院日数（一般病床のみ）		17.8	17.6	17.5

設立団体の状況		
人口（人）	50,254	
決算規模（千円）	20,302,811	
標準財政規模（千円）	13,168,471	
財政力指数	0.92	
経常収支比率（%）	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.1
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,515,343			
1 経常収益	1,515,343			
(1) 医業収益	1,304,899			
入院収益	749,251			
外来収益	476,731			
診療収入計	1,225,982			
その他医業収益	78,917			
(うち他会計負担金)	26,774			
(2) 医業外収益	210,444			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	199,879			
(うち長期前受金戻入)	1,759			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,625,216			
2 経常費用	1,620,575			
(1) 医業費用	1,558,798			
職員給与費	868,265	66.5	56.0	71.8
材料費	157,389	12.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	53,325	4.1	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	102,334	7.8	11.1	5.6
減価償却費	145,124	11.1	9.2	12.2
経費	342,764	26.3	23.2	31.2
(うち委託料)	221,077	16.9	11.3	12.3
研究研修費	2,957			
資産減耗費	42,299			
(2) 医業外費用	61,777			
(うち支払利息)	7,595	0.6	1.6	1.9
(3) 特別損失	4,641			
損益				
経常損益	-105,232			
純損益	-109,873			
累積欠損金	1,197,966			
経常収支比率	93.5		98.2	97.1
医業収支比率	83.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	17.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	15.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	79.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,986,070
1 固定資産	2,397,592
(1) 有形固定資産	2,349,425
(2) 無形固定資産	940
(3) 投資その他の資産	47,227
2 流動資産	588,478
(1) 現金及び預金	354,826
(2) 未収金及び未収収益	230,156
(3) 貸倒引当金（ ）	1,602
(4) 貯蔵品	5,098
3 繰延資産	-
負債合計	538,805
1 固定負債	173,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,300
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	42,654
(7) リース債務	25,355
2 流動負債	351,173
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,709
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,974
(6) リース債務	50,349
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	141,982
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,323
(1) 長期前受金	21,643
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	7,320
資本合計	2,447,265
1 資本金	3,627,453
2 剰余金	-1,180,188
(1) 資本金剰余金	17,778
(2) 利益剰余金	-1,197,966
負債・資本合計	2,986,070
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	82.0
修正医業収支金額（千円）	1,278,125

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,517	226,653
資本勘定繰入	47,184	47,184
計	239,701	273,837

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	91.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	志摩市
				病院名	国民健康保険 志摩市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,358 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	6	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	17	-	-	-
療養	60	85.1	80.3	80.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	66.3	62.6	45.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	50,341	
決算規模(千円)	25,156,523	
標準財政規模(千円)	16,718,564	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	42.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.9
修正医業収支金額(千円)	774,639

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,264,090			
1 経常収益	1,237,079			
(1) 医業収益	808,973			
入院収益	436,825			
外来収益	318,410			
診療収入計	755,235			
その他医業収益	53,738			
(うち他会計負担金)	34,334			
(2) 医業外収益	428,106			
(うち国・都道府県補助金)	4,042			
(うち他会計補助・負担金)	295,703			
(うち長期前受金戻入)	122,788			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,011			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,243,635			
2 経常費用	1,216,718			
(1) 医業費用	1,175,211			
職員給与費	739,986	91.5	56.0	71.8
材料費	111,122	13.7	24.1	16.5
(うち薬品費)	40,410	5.0	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,712	8.7	11.1	5.6
減価償却費	122,356	15.1	9.2	12.2
経費	199,299	24.6	23.2	31.2
(うち委託料)	132,584	16.4	11.3	12.3
研究研修費	2,016			
資産減耗費	432			
(2) 医業外費用	41,507			
(うち支払利息)	20,507	2.5	1.6	1.9
(3) 特別損失	26,917			
損益				
経常損益	20,361			
純損益	20,455			
累積欠損金	664,373			
経常収支比率	101.7		98.2	97.1
医業収支比率	68.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	26.7		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	40.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	74.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,726,199
1 固定資産	1,540,929
(1) 有形固定資産	1,539,106
(2) 無形固定資産	1,823
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	185,270
(1) 現金及び預金	52,650
(2) 未収金及び未収収益	145,202
(3) 貸倒引当金()	15,127
(4) 貯蔵品	2,545
3 繰延資産	-
負債合計	1,786,448
1 固定負債	789,363
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	789,363
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	199,562
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,935
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,920
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,309
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	797,523
(1) 長期前受金	1,386,187
(2) 長期前受金収益化累計額()	588,664
資本合計	-60,249
1 資本金	350,796
2 剰余金	-411,045
(1) 資本金剰余金	253,328
(2) 利益剰余金	-664,373
負債・資本合計	1,726,199
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	60,249
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	252,808	330,037
資本勘定繰入	83,678	131,949
計	336,486	461,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	伊賀市
				病院名	伊賀市立上野総合市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,528 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	281	70.6	67.9	64.5
療養	-	-	90.5	89.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	70.6	71.1	68.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	18.3	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	90,581	
決算規模(千円)	46,841,767	
標準財政規模(千円)	27,444,763	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	81.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	100.5
修正医業収支金額(千円)	4,029,184

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,662,343			
1 経常収益	4,634,775			
(1) 医業収益	4,227,070			
入院収益	2,784,410			
外来収益	993,920			
診療収入計	3,778,330			
その他医業収益	448,740			
(うち他会計負担金)	197,886			
(2) 医業外収益	407,705			
(うち国・都道府県補助金)	5,495			
(うち他会計補助・負担金)	223,193			
(うち長期前受金戻入)	124,983			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,568			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,413,594			
2 経常費用	4,215,064			
(1) 医業費用	4,007,943			
職員給与費	2,250,659	53.2	56.0	59.3
材料費	702,047	16.6	24.1	19.3
(うち薬品費)	326,693	7.7	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	372,626	8.8	11.1	9.2
減価償却費	274,343	6.5	9.2	10.3
経費	763,216	18.1	23.2	27.6
(うち委託料)	462,606	10.9	11.3	12.3
研究研修費	5,851			
資産減耗費	11,827			
(2) 医業外費用	207,121			
(うち支払利息)	22,905	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	198,530			
損益				
経常損益	419,711			
純損益	248,749			
累積欠損金	957,392			
経常収支比率	110.0		98.2	96.7
医業収支比率	105.5		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,724,209
1 固定資産	2,496,237
(1) 有形固定資産	2,493,836
(2) 無形固定資産	1,656
(3) 投資その他の資産	745
2 流動資産	1,227,972
(1) 現金及び預金	500,682
(2) 未収金及び未収収益	723,728
(3) 貸倒引当金()	2,101
(4) 貯蔵品	5,663
3 繰延資産	-
負債合計	3,417,422
1 固定負債	2,449,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,236,677
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	505,000
(6) 引当金	706,996
(7) リース債務	329
2 流動負債	747,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	132,514
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	20,000
(5) 引当金	126,744
(6) リース債務	327
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	467,003
(9) 前受金及び前受収益	1,000
3 繰延収益	220,832
(1) 長期前受金	3,946,204
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,725,372
資本合計	306,787
1 資本金	168,333
2 剰余金	138,454
(1) 資本金剰余金	1,085,633
(2) 利益剰余金	-947,179
負債・資本合計	3,724,209
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,308	421,079
資本勘定繰入	80,535	80,535
計	412,843	501,614

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	三重県
		市町村・組合名	大台町
		病院名	報徳病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,557	
決算規模(千円)	7,304,735	
標準財政規模(千円)	4,650,923	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	48.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,542			
1 経常収益	1,542			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,542			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,542			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,542			
2 経常費用	1,542			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	-	-	9.2	13.4
経費	-	-	23.2	47.5
(うち委託料)	-	-	11.3	20.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,542			
(うち支払利息)	1,542	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.3
医業収支比率	-		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	-		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	969	1,542
資本勘定繰入	5,448	9,210
計	6,417	10,752

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	玉城町
				病院名	国保玉城病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,964 m ²	指定病院の状況			
診療科数	7	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	50	99.4	99.4	100.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	99.4	99.4	100.2
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	15,431	
決算規模（千円）	6,065,700	
標準財政規模（千円）	3,999,165	
財政力指数	0.61	
経常収支比率（%）	73.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.7
	将来負担比率（%）	56.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	92.3
修正医業収支金額（千円）	571,960

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	648,711			
1 経常収益	643,711			
(1) 医業収益	575,437			
入院収益	379,404			
外来収益	138,296			
診療収入計	517,700			
その他医業収益	57,737			
(うち他会計負担金)	3,477			
(2) 医業外収益	68,274			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	58,493			
(うち長期前受金戻入)	5,973			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,000			
(うち他会計繰入金)	5,000			
総費用	654,725			
2 経常費用	649,725			
(1) 医業費用	619,828			
職員給与費	371,403	64.5	56.0	71.8
材料費	53,093	9.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	18,860	3.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,647	3.9	11.1	5.6
減価償却費	36,300	6.3	9.2	12.2
経費	157,650	27.4	23.2	31.2
(うち委託料)	115,883	20.1	11.3	12.3
研究研修費	1,382			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,897			
(うち支払利息)	11,168	1.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	5,000			
損益				
経常損益	-6,014			
純損益	-6,014			
累積欠損金	33,965			
経常収支比率	99.1		98.2	97.1
医業収支比率	92.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	89.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,290,154
1 固定資産	774,092
(1) 有形固定資産	753,265
(2) 無形固定資産	676
(3) 投資その他の資産	20,151
2 流動資産	516,062
(1) 現金及び預金	425,750
(2) 未収金及び未収収益	89,043
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	1,269
3 繰延資産	-
負債合計	768,496
1 固定負債	529,229
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	503,122
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	26,107
(7) リース債務	-
2 流動負債	94,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,347
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,710
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,618
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	144,529
(1) 長期前受金	223,924
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	79,395
資本合計	521,658
1 資本金	15,863
2 剰余金	505,795
(1) 資本金剰余金	509,760
(2) 利益剰余金	-3,965
負債・資本合計	1,290,154
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	50,842	66,970
資本勘定繰入	24,168	24,168
計	75,010	91,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	5.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	南伊勢町
	病院名	町立南伊勢病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,291 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	75.4	84.1	79.2
療養	26	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	76	49.6	55.3	52.1
平均在院日数（一般病床のみ）		27.4	22.8	23.4

設立団体の状況		
人口（人）	12,788	
決算規模（千円）	8,934,668	
標準財政規模（千円）	5,816,776	
財政力指数	0.21	
経常収支比率（%）	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.3
	将来負担比率（%）	52.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.7
修正医業収支金額（千円）	674,077

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	953,342			
1 経常収益	953,342			
(1) 医業収益	744,077			
入院収益	319,020			
外来収益	314,796			
診療収入計	633,816			
その他医業収益	110,261			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	209,265			
(うち国・都道府県補助金)	881			
(うち他会計補助・負担金)	153,403			
(うち長期前受金戻入)	10,841			
(うち資本費繰入収益)	16,149			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	999,671			
2 経常費用	999,671			
(1) 医業費用	902,597			
職員給与費	632,663	85.0	56.0	71.8
材料費	73,814	9.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	56,647	7.6	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,167	2.3	11.1	5.6
減価償却費	45,019	6.1	9.2	12.2
経費	148,742	20.0	23.2	31.2
(うち委託料)	108,703	14.6	11.3	12.3
研究研修費	2,119			
資産減耗費	240			
(2) 医業外費用	97,074			
(うち支払利息)	3,462	0.5	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-46,329			
純損益	-46,329			
累積欠損金	886,546			
経常収支比率	95.4		98.2	97.1
医業収支比率	82.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	23.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	30.0		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	73.0		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,331,498
1 固定資産	1,037,518
(1) 有形固定資産	1,037,518
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	293,980
(1) 現金及び預金	224,886
(2) 未収金及び未収収益	59,908
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	8,870
3 繰延資産	-
負債合計	1,243,729
1 固定負債	1,112,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,065,197
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	47,500
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	84,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,927
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,351
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,351
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	46,657
(1) 長期前受金	247,677
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	201,020
資本合計	87,769
1 資本金	9,110
2 剰余金	78,659
(1) 資本金剰余金	965,205
(2) 利益剰余金	-886,546
負債・資本合計	1,331,498
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	253,084	223,403
資本勘定繰入	16,149	16,149
計	269,233	239,552

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	119.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	紀南病院組合
	病院名	紀南病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	200	85.0	83.9	84.0
療養	40	79.9	83.6	71.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	244	82.8	82.5	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	14.3	16.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,675 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.0
修正医業収支金額(千円)	3,736,423

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,798,500			
1 経常収益	4,779,997			
(1) 医業収益	3,830,009			
入院収益	2,694,337			
外来収益	915,134			
診療収入計	3,609,471			
その他医業収益	220,538			
(うち他会計負担金)	93,586			
(2) 医業外収益	949,988			
(うち国・都道府県補助金)	25,648			
(うち他会計補助・負担金)	162,876			
(うち長期前受金戻入)	197,456			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,503			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,778,930			
2 経常費用	4,778,930			
(1) 医業費用	4,060,106			
職員給与費	2,237,995	58.4	56.0	59.3
材料費	625,348	16.3	24.1	19.3
(うち薬品費)	289,009	7.5	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	327,435	8.5	11.1	9.2
減価償却費	318,080	8.3	9.2	10.3
経費	862,262	22.5	23.2	27.6
(うち委託料)	301,555	7.9	11.3	12.3
研究研修費	13,082			
資産減耗費	3,339			
(2) 医業外費用	718,824			
(うち支払利息)	42,016	1.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	1,067			
純損益	19,570			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	94.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	94.7		86.0	83.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,696,405
1 固定資産	6,429,864
(1) 有形固定資産	6,206,427
(2) 無形固定資産	547
(3) 投資その他の資産	222,890
2 流動資産	2,266,541
(1) 現金及び預金	1,569,346
(2) 未収金及び未収収益	703,710
(3) 貸倒引当金()	13,494
(4) 貯蔵品	6,979
3 繰延資産	-
負債合計	6,113,832
1 固定負債	3,334,603
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,302,077
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	32,526
(7) リース債務	-
2 流動負債	837,291
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	269,791
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	192,709
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	359,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,941,938
(1) 長期前受金	5,316,249
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,374,311
資本合計	2,582,573
1 資本金	906,775
2 剰余金	1,675,798
(1) 資本金剰余金	131,186
(2) 利益剰余金	1,544,612
負債・資本合計	8,696,405
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	318,271	256,462
資本勘定繰入	152,721	146,456
計	470,992	402,918

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。